

DVD教材「江合川 水ものがたり」完成 ～ 上映を希望される皆さんに実費で配布します～

江合川は鬼首盆地より大崎平野を縦断して流れる全長80kmの一級河川です。流域の方々でも上流から河口といった全体像についてはあまり知られてはいません。もっと知って欲しいとの思いをこめてDVD教材「江合川 水ものがたり」を作成しました。江合川の概観、稲作と江合川、洪水と江合川、流域の水の神さまなどの紹介を通して、江合川と地域の人々のつながりについて知ることができます。

MELON水部会と流域の皆さんのプロジェクトで制作しました。5月、6月の田植えの画像を加え、改良版が7月上旬に完成します。

小・中学校・高校、町内会、農業団体、環境団体等江合川に関心を持ち、上映を希望される皆さんに実費で配布します。

事務局までお問い合わせ下さい。



荒雄川神社神楽奉納



水神峠

MELONとは 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称「MELON」。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - 年5回の情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1. DVD教材「江合川 水ものがたり」完成
- P2. 「3.11 震災に学ぼう！ ～これからの自然エネルギー～」シンポジウム
- P3. 関心高まる薪ストーブ「薪ストーブセミナー」
今がチャンス 生ごみ堆肥をつくってみよう
- P4. MELONcafe プチ講座
かんきょう読み聞かせ「ふくしまからきた子」
- P5. 協同組合からのお知らせ
50人リレートーク 杉山ふじ子さん
- P6. ストップ温暖化センターみやぎ通信
- P7. 舞茸生産&林業技術見学ツアー
89ERS ホームゲームでECOスクール開催
親子でエコ・クッキングに挑戦！
- P8. 投稿、イベント一覧、編集後記

自然エネルギーを利用してみませんか？

「3.11 震災に学ぼう！～これからの自然エネルギー～」シンポジウム開催

日 時：2月22日（水）14：40～17：40
場 所：エル・パーク仙台 セミナーホール
参加者：105 名

東日本大震災から 1 年が過ぎました。皆さんは震災の時に「電気・エネルギー」をあらためて意識をしたり、考えたりしませんでしたか？

講演は東北大学大学院名誉教授の新妻弘明氏と宮城県地球温暖化防止活動推進員の今野勇氏を招いて行いました。その後、4 名のパネリストに参加していただき「今後の自然エネルギー」についてパネルディスカッションを行いました。

新妻教授の講演では「震災に学ぶ～エネルギー・環境学に携わってきた者として～」と題してお話をいただきました。震災などでエネルギーを喪失した状態にあっても 1%でも自然エネルギー等を自ら調達する設備があれば、震災時などに最低限のエネルギーはまかなえるとのこと。昔の生活の良いところを取り入れ、現在のライフスタイルを見直すことも大事なこととおっしゃっていました。

今野氏には震災時に自宅にある太陽光発電システムがどのように活用されたかの事例と省エネについてお話をいただきました。震災時には太陽光発電を自立運転へ切り替えて、最低限生活できる電気をまかなえたとのこと。また、蓄電池も備え付けていて日中余った電力を蓄電することもでき助かったようです。太陽光発電システムで発電した電気は家族で省エネの意識を持ちながら大事に使ったようです。

パネルディスカッションでは、新妻教授と今野氏に加え菊地重雄氏（川崎町の資源をいかす会 理事長）、渡辺信哉氏（塩釜市団地水産加工業協同組合 部長）、渡



パネルディスカッションでは会場との意見交換が活発に行われました

辺修次氏（山元町山下中学校 元校長）、小野幸助氏（株式会社建築工房零 代表取締役）にパネリストとして参加いただきました。震災時に各団体や学校、企業はどのような活動を行ったかそれぞれお話をいただき、今後の自然エネルギーの活用方法や考え方について来場者も交えて活発に意見を交換しました。パネリストの発言では自然エネルギーは資源の少ない日本にとって未来の子どもたちにエネルギーを残すためには有効ではないかとの意見もありました。

また、会場の後方にブースを設け「小型の小水力発電」や「BDF オイルについて」「薪の活用方法」、「自然エネルギーを取り入れた住宅・ライフスタイル」「学生が考える自然エネルギーのアンケート結果」の展示を行いました。

参加者からはこのような自然エネルギーの知識を学べる講座をもっと開いてほしいとの声が多く、部会として今後継続して自然エネルギーのセミナーや環境市民講座を行っていきます。多くの方へ自然エネルギーの有効性、震災に強い自然エネルギーの情報・知識、またエネルギーを自給自足できる方法などを具体的な事例で紹介していきます。



新妻教授の自然エネルギーのお話はわかりやすく、参加者からも参考になったとの声が多かったです！



小型の小水力発電の模型を展示しました

関心高まる薪ストーブ 「薪ストーブセミナー」開催

日時：2月11日（土）10:00～15:10
 場所：宮城大学大和キャンパスカフェテリア
 主催：宮城大学地域連携センター、特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹、MELON
 共催：特定非営利活動法人川崎町の資源をいかす会

昨年秋の講座には定員を超える反響があった薪ストーブ体験講座。2月に開催したセミナーでも50組85名程の方々が参加しました。

参加したのは、薪ストーブに関心があるご家族やすでに10年以上薪ストーブを愛用している方、最近新築して薪ストーブを導入した方などさまざまです。今回のセミナーでは薪ストーブの組立て・仕組み・焚きつけの手順の解説、薪ストーブのある暮らしの講演、そして薪ストーブ



薪ストーブを興味深げに見る参加者

で薪ストーブを導入了方などさまざまです。今回のセミナーでは薪ストーブの組立て・仕組み・焚きつけの手順の解説、薪ストーブのある暮らしの講演、そして薪ストーブ

実践者を交えたグループフリートークを行いました。

煙が出て近所迷惑になるのではないかと薪の調達はどうしているのか？

薪の金額や量は

どの程度必要なのか？ どのくらい乾燥させるのか？ 灰の処理はどうしたらいいのか？ などの質問に、実践者からは経験をもとにしたアドバイスをしていききました。また、アトピーに良いと聞いて薪ストーブを始めた、薪ストーブにしてペットの毛が部屋に溜まらなくなったなどの意外な情報も出て、有意義な情報交換の場となりました。

放射能の課題はありますが、薪ストーブへの関心と需要は確実に伸びています。適切な対応をした上で、薪ストーブを体験してみませんか？ MELONでは今年もセミナーを開催予定です。



実践者を交えたグループトーク

今がチャンス 生ごみ堆肥をつくってみよう

MELON4R推進部会で実験している手動式生ごみ処理機とダンボールコンポストは、電気式と異なり特別な温熱装置はないため気温の上昇する春から秋口が始めるチャンスです。ダンボールを使った簡単な生ごみ堆肥の作り方を紹介します。

【その1 ダンボール】

ダンボールはなるべく厚めのもので、上辺の周囲が120cmのものが良い。底を紙テープでしっかり貼って、周囲は虫が入らないように穴はふさぎます。底に新聞紙を2日分位敷きます。



ベランダのダンボール堆肥

【その2 基材】

「腐葉土」2.5kgに「米ぬか」0.5kg、「粗殻くん炭」0.3kgをダンボールに入れかき混ぜます。

水300cc～500ccを均等に振りかけて、移植へらで攪拌します。

【その3 洗濯ネット】

60cm×60cmの目の細かい洗濯ネットの1辺を切り開き、ダンボール箱の口にかぶせます。小さい洗濯ネットにかんな屑（無ければ新聞紙を細切れにして）入れ、大きい洗濯ネットの上に置きます。

【その4 生ごみを入れて攪拌する】

大きい洗濯ネットを箱から引き上げて、台所の生ごみを入れて攪拌します。攪拌が終わったら洗濯ネットをかぶせておきます。以上を繰り返してください。

【その5 米ぬか】

米ぬかをタッパーウエアに保管しておいて、生ごみの発酵を進めたいときに計量カップで2杯くらい入れてみると、温度が一気に上がり、生ごみが急速に減量します。

やってみたい！ という方は事務局までお問い合わせください。



MELONcafe

MELONcafe プチ講座

3月3日(土) 13:30 ~ 14:30
「米粉で簡単★桜もち&いちご大福作り」

4月7日(土) 13:30 ~ 14:30
「米粉でかしわもち作りとにんじんの浅漬作り」

日本の食卓に洋食が多くなってくるとともに、食料自給率は39%(H22年度)になっています。日本人の主食の「お米」は自給率98%ですが、パスタやケーキなどで使う「小麦」はわずか8%(H22年)。ほとんど輸入に頼っている状況です。そんな中、食料自給率向上と最近の穀物価格高騰のため、



親子で桜もちといちご大福を作りました

「お米」が見直されています。

3月の講座では春にふさわしい「桜もちといちご大福作り」を行いました。参加者のほとんどは桜もちなど作ったことがないとのことでした。最初に米

粉の有効性を説明したあと、レンジで手軽に2種類のお菓子を作りました。親子での参加者が2組あり、参加者の感想として「こんなに簡単に作れるとは思わなかった」「家に帰ってから作ってみよう」との声がありました。

また、4月の講座は「かしわもち作りとにんじんの浅漬作り」を行いました。こちらも材料を混ぜてレンジで5分くらいかけると出来上がります。にんじんは皮をむかずに5mm角の短冊切りにし、一つまみの塩と塩昆布を混ぜて冷蔵庫で30分休ませると出来上がりです。男性も2名と幅広い層の参加がありました。参加者の感想として「自宅に帰ってからも作ってみたい」との声もありました。

MELONcafeでは食料自給率の向上のために米粉の講座を今後も行いたいと思います。



かしわ餅を作りました

今後のMELONcafe プチ講座

6月2日(土) 13:30 ~ 14:30
「保冷剤でひんやり♪ ハンドメイドスカーフ作り」



ふくしまからきた子

「言葉なんか信じない」

「一億総懺悔(いちおくそうざんげ)」という言葉をご存じですか。1945年に日本が降伏し、占領を受け入れた後に、そのときの総理大臣が国会で演説した時の言葉です。「戦争を起こした人も戦争を行った人もその責任を追及してはいけないのであって、みなで頭を下げるべきだ」というのです。戦後生まれのわたしはなにかの本でしか読んだことがありませんが、なんと恐ろしい言葉だと思うのです。

わたしたちは67年経った今、世界中の人びとにしようげきを与えた福島原子力発電所事故で同じような経験をしているような気がします。都合の悪い情報を隠し、安全でないものを作り、動かし続けてきた責任が問われることがないのです。「すぐさま健康に影響を与える量ではない」という言葉も責任を隠す恐ろしい言葉で

す。なぜ、農水産物の出荷を自粛するのでしょうか。子どもたちが外で遊べないということは『影響』ではないのでしょうか。

松本猛・松本

春野 作、松本春野 絵「ふくしまからきた子」(2012年4月 岩崎書店)を読みましょう。広島にすむ子ども、だいじゅはサッカーに夢中。「かがわ、ながとも、だいじゅ・・・」とつぶやきながらリフティングの練習しています。だいじゅは福島からやってきた少女、まやがサッカーが上手なことを知ります。でも、まやは「サッカーはやらないって決めたんだ」といいます。「だってみんなまだそとであそべないから」と。だいじゅはうちに帰ってひいばあちゃんから放射能のことをききました。だいじゅは「しょうらいそうりだいじんになる! そうしてほうしゃのうをなくすんじゃ!」とまやかにいいます。

だいじゅのうちの窓から隣のまやのうちが見えます。まやをだいてあげるお母さんの姿に、かなしみをこらえてなんとかして子どもをまもりたいという「親」が見えます。この場面だけ言葉を使わずに絵だけで表現されているところに、もてあそばれている「言葉」を廃した強さと人間の美しさが見えます。はやく言葉が信じられるようになるといいなあ。



各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

「七北田川観察会参加者募集」

津波被害の大きかった蒲生干潟から七北田川に沿って泉ヶ岳周辺までを観察しながら、わたしたちの暮らしと『水』とのかかわりについて学びます。干潟再生の過程を見たり、泉ヶ岳から流れる川で生き物探しをしたり、いつもと違う視点で『水』について考えてみませんか？ 水先案内人は木村美智子先生（茨城大学）、観察指導は山田一裕先生（東北工業大学）です。水に入ることもありますので、着替えを一式持ってご参加ください。

実施日 8月4日（土）

集合・解散 8:50集合、15:00解散（仙台駅西口大型バス発着所）

持ち物 筆記用具、昼食、飲料、敷物、帽子、着替え、水にぬれてもいい運動靴、雨具

参加費 大人 1,000円、中学生以下 半額、未就学児 無料

お申し込み方法 ハガキ、FAX、Eメールで、①参加者名 ②住所 ③電話番号
④参加人数（大人〇人、子ども〇人） ⑤参加されるお子様の年齢
をお知らせください。

申し込み締め切り 7月6日（金）



申し込み・問い合わせ先

みやぎ生活協同組合生活文化部 暮らしの活動事務局(安達)行

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2

電話 022-218-5331 FAX 022-218-5945 Eメール sn.mkankyok3@todock.jp



MELON20周年をめざせ！ 50人リレートーク



第41人目の執筆者

杉山ふじ子さん

（建築と子どもたち
ネットワーク仙台）

堤町の登り窯をご存知ですか？ 江戸期から「堤焼」や「堤人形」をつくる焼物の町として知られた堤町に唯一残る堤焼遺構で大正7年に築造された六連の登り窯です。

建築と子供たちネットワーク仙台では、2001年より、この登り窯と隣の旧工房を「堤町まちかど博物館」として整備、登り窯の修復をしてきました。その登り窯が、今回の震災で三層が崩れるという大きな被害を受けました。もう修復はできないのでは？ と心配しましたが、登り窯の所有者で堤町まちかど博物館館長の佐藤はつみさんと堤人形作家の佐藤吉夫さんの「復元したい」という思いを知り、昨年より修復に向けて動き出しました。崩れたレンガ一つひとつから、焼きついた粘土を削るといった気の遠くなるような作業に、これまで延べ二百人以上のボランティアが参加してくれました。粘土もレンガも再利用されます。5月下旬より職人さんの手を借りながら窯の復元に入る予定ですが、残念ながら現状では費用が不足しています。昨年、この登り窯など奥州街道沿いの歴史的建造物の見どころや、これらの建造物を題材

にしたデザイン学習プログラムを紹介する「デザインで遊ぼう 仙台奥州街道建築たんけんガイドブック」を発行しました。この本を購入していただくことが資金の支援にも繋がります。また、レンガ積み作業のお手伝いも広く募集していますので、興味のある方はぜひご連絡下さい。



建築と子供たちネットワーク仙台

連絡先：982-0032 仙台市太白区富沢4丁目12-22

（株）建築事務所アク・アク内

HP：<http://architecture-and-children-sendai.blogspot.jp/>

… 次号執筆者紹介 …

千坂げんぼう さん

（久保川イーハトーブ自然再生協議会）



ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.55

推進員だより No.4

50名が委嘱されました。～推進員委嘱式&研修会開催～

日時：4月20日（金）13:30～15:30

場所：宮城県庁 みやぎ広報室

参加者：34名

研修会の内容：推進員による活動報告、グッズ展示コーナー見学

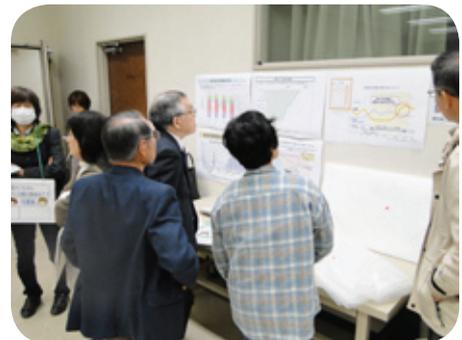
宮城県内で温暖化防止のために活動する人々、それが宮城県地球温暖化防止活動推進員です。推進員の任期は2年で、毎年4月に委嘱式が行われます。今年委嘱対象となったのは第1・3・5・7期生。委嘱式では、宮城県環境生活部の及川次長より、推進員一人ひとりに委嘱状が手渡され、身の引き締まる思いとともに気持ちを新たにしている様子が感じられました。今年は、第1期8名、第3期7名、第5期14名、第7期21名の合計50名の推進員が継続して委嘱され、宮城県の推進員は、合計で78名となりました。

委嘱式に引き続いて行われた研修会では、3名の推進員より、それぞれ「小学校での環境学習」、「地域イベントでの活動」、「被災地、気仙沼での活動」についての活動報告が行われました。また、会場の一角には、報告者の活動に関する資料やグッズを展示。見学時には、参加者は報告者に活動やグッズについて質問したり、意見交換を行ったりと賑わいました。

推進員の皆さんがより一層活発に活動できるよう、ストップ温暖化センターみやぎも全力で支援を行っていきます。



一人ひとりに委嘱状が手渡されました。



グッズ展示コーナー見学

CO₂どれだけ減った？ ～2011年度の結果報告～

2011年度、ストップ温暖化センターみやぎでは、みやぎ節電プロジェクトやうちエコ診断、地域イベントなどさまざまな活動を行い、CO₂削減量の「見える化」を行いました。

昨年度、ストップ温暖化センターみやぎが行った活動によるCO₂削減量の結果を報告します。

■みやぎ節電プロジェクト2011

家庭や企業を対象に緑のカーテンや断熱シートを設置し、空調機器の節電に取り組みました。結果は、「家庭4,534kg-CO₂/年」「企業90,950kg-CO₂/年」、合計「95,484kg-CO₂/年」の削減となりました。

■うちエコ診断

家庭を対象にライフスタイルに合わせた省エネ対策の提案を行うもので、宮城県内100世帯の方に受診いただきました。提案した対策を実行したことによるCO₂削減量は、「83,625

kg-CO₂/年」でした。

■その他地域イベント等

サイエンス・デイ2011や、せんだい地球フェスタなどのイベントに出展し、温暖化防止についての呼びかけを行いました。イベントでは、CO₂削減行動のアンケートを実施し、削減量を測りました。結果は、「26,906kg-CO₂/年」でした。

これらを合計すると、CO₂削減量は「206,015kg-CO₂/年」。一人ひとりの取り組みは小さなことでも、多くの人々が取り組むことによって大きな効果となることを実感する結果となりました。日々の暮らしの中でのCO₂を減らしていくための行動は、けっしてがまんや大変なことではありません。ストップ温暖化センターみやぎは今年度も、快適に過ごしつつ楽しく取り組める対策を宮城県の皆さまに提案し、CO₂削減に努めていきたいと思ひます。

大人の遠足・木質活用編 舞茸生産組合 & 林業技術見学ツアー

日 時：3月27日（火）9：30～16：00
見学先：麓上舞茸生産組合、
宮城県林業技術総合センター

木質活用でなぜ舞茸生産組合の見学か？ それはきのここと樹の関係は切っても切り離せない関係だからです。「きのこがないと森はダメなんです。きのこは種類によって生える樹が違う。きのこは生きている樹には生えません。死んだり枯れた木に育ちます。だから、きのこは森の掃除屋さんなんです。」麓上舞茸生産組合の佐藤さんが教えてくださいました。おが粉に舞茸の植菌をし、春・梅雨・夏と季節の温度と湿度を再現した部屋ごとにきのこを移して栽培しています。「低気圧が近づくとよく育つんですよ」と佐藤さん。管理さ

れているように見えて、自然の変化と共に育てていました。宮城県林業技術総合センターで力を入れているひとつには、松枯れの対策があります。苗木に松くい虫をつけ、それでも育つ松をさらに次の年に同じ実験を繰り返します。そうして松くい虫に強い松を厳選していくそうです。今実験している苗木が樹に育つまでには何十年とかかります。林業は長い年月を見越し、未来を考えて行うものなのです。

森林について、林業について、改めて考える機会となりました。



第3回「GO! GO! 89ERS!! ECOスクール」

日 時：4月15日（金）10：30～16：30
場 所：仙台市体育館

このイベントはエコシティ仙台プロデュースプロジェクトが主体となり、仙台89ERSホームゲームで各種の環境体験を親子が体験する企画です。仙台89ERSさんは以前からMELONと連携してごみの減量とリサイクルに取り組んでいます。

内容はエコステーションの見学や体験と、環境に関する講座を株式会社ウジエクリーンサービスが講師で行いました。また木本生花株式会社が講師となり、環境に配慮した肥料を使用した「お花のよせ鉢づくり」を親子で体験し、植物に対する関心を高めることができました。参加者の感想では、「ペットボトルのラベルをしっかりとがすようになりました」「継続して行ってほしい」との声がありました。

今後も引き続きエコシティ仙台プロデュースプロジェクトでは在仙3球団の会場でごみの減量やリサイクルの知識を広める活動を行っていきます！



エコステーションを体験する子どもたち

親子でエコ・クッキング*に挑戦！

日 時：3月31日（土）10：30～14：00
場 所：仙台市ガス局ショールームキッチンパレット
講 師：MELONエコクッキングチーム
メニュー：キャバツのサラダ巻き、チャチャッとおやき、エコなミネストローネ、鶏肉の黒酢煮、特急トリュフ
協 力：仙台市ガス局

MELON 4 R推進部会では2011年から「エコクッキングチーム」を作り、市民センターや社会学級への出前料理教室を行っています。

今回は親子料理教室のため、子どもでも簡単に混ぜて丸めるだけで作れるトリュフや、キャバツで包むサラダ巻きなどを作りました。手間を省く、時短で作ることはエネルギーの削減でエコにもなります。皮や芯の固い部分も、ミネストローネの中に入れ、食材のほとんどを使い切りました。

紅生姜のつけ汁を利用して作った淡いピンクの大根漬けは、花びら型にくり抜き、華やかなトッピングにしました。

子どもたちは混ぜたり切ったり焼いたり、同じグループになった友達と協力しながら作り、すっかり仲良くなったようでした。家庭でもぜひエコクッキングを実践してほしいですね！

*「エコ・クッキング」は東京ガス(株)の登録商標です。



98 号の投稿テーマ

「私から リオ+20 へのメッセージ」

今日に至る地球環境の保護に大きな影響を与えた1992年の国連環境開発会議（地球サミット）から今年で20年。再びリオで持続可能な開発会議が開催されます。リオへ向けて寄せられたメッセージです。

気候変動、災害、事故、不況、紛争・・・天災も人災も多発する現代において、私たち人類にとって何が一番大切なかを再度世界中の一人一人が真剣に考えるべきと思います。そうすれば、自然に答えは見えてくるはず。 (P.N 地球人)

先進国は開発・開拓・発展・大量生産大量消費の社会から脱却すべし！もし開発や発展のために使われているお金を全部、貧しさと環境問題を解決するために使えば、地球はずばらしい星になると思う。(一部セヴァンのスピーチ参考) (P.N 籠)

20年経っても環境問題はまだ解決していない。いまこそ世界中の力を合わせよう！ (P.N K.S)

投稿募集

99号テーマ
「サマータイム導入する？ しない？」

日の長い夏の間、日中の時間を有効活用するため時間を1時間早める制度、サマータイム。会社や自宅であなたはサマータイム導入しますか？しませんか？ その理由も一言添えてお寄せください。

特典
特典投稿が採用された方には、「500円分のMELON協力COOP商品券」をプレゼント♪（みやぎ生協の各店舗および宮城県内の日専連加盟店で使えます。）

投稿方法
■投稿文とペンネームを明記し、メール・FAX・ハガキ等にてMELONへお寄せください。
ケータイからの投稿はQRコードからご覧いただくと簡単です。
■締め切り：7月10日（火）



編集後記

■先日毎年恒例の棚整理をしていたら、MELON設立当時の新聞記事がありました。政治色のない環境団体として報じられ、珍しく期待されていたんだと実感。身が引き締まりました。（廣重）

■トイレを節水型のものにリフォームしようかと検討中です。現在の一回あたりの水の排水量は13ℓで、節水型にリフォームした場合は5ℓとなり8ℓ節水できます。（菅田）

■年度初めの落ち着いたひとときも束の間。今年度の事業が動き始め、一気に忙しくなりました。（岸）

■4月になって気温が急速に上昇。我が家のダンボールコンポスト、手動式生ごみ処理機の堆肥も急激に分解、放線菌で表面が白くなった。大成功!!!（篠原）

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくはMELON事務局までお問合せください。
※会員以外の方も参加できます。

6/2(土)	MELONcafe プチ講座 「保冷剤でひんやり♪ ハンドメイドスカーフ作り」
6/3(日)	水部会 身近な水環境の全国一斉調査 (広瀬川水質調査)
6/5(火)~9(土)	ごみ減量・リサイクル展に出展
6/11(月)	自然エネルギー等普及プロジェクト 例会
6/23(土)	水部会 例会 まちなか eco マルシェにリメイクキャンドルで出展
7/7(土)	MELONcafe プチ講座 「包装紙をリサイクル☆手作り七夕飾り作り」
7/12(木)	4R 推進部会 例会
7/28(土)	MELONcafe プチ講座 「保温調理で簡単♪ 省エネクッキング」

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

一 環境講座のご相談は MELON へ

MELONでは、環境に関する出前講座の講師派遣や紹介を行っています。学校、市民センター、社会学級などでの体験やお話のほか、イベントでの出展も対応します。日時・費用・内容などお気軽にご相談ください。

例)・地球温暖化と私たちにできること
環境学習の多様なツールを使い、体験しながら学べます。

- ・生ごみ堆肥でごみ減量
ペランダで手軽にできるダンボール堆肥の実演とごみ減量のお話し。
- ・リメイクキャンドル作り
会場などから譲り受けたろうそくを再利用し、溶かし色づけして作ります。

他にも紙芝居上演、タンブラーペイント、アクリルたわし作りなど要望に応じて実施します。

<p>会員状況</p> <p>826名</p> <p>法人 94 任意団体 12 個人 720</p> <p>2012年5月10日現在</p>	<p>ボランティアポイントカード制度をご活用ください</p> <p>会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをすると、1ポイント差し上げます。5つ貯まると1,000円分のMELON協力商品券と交換できます。</p>
	<p>MELON 協力商品券とは</p> <p>みやぎ生協、日専連仙台で発行している商品券です。金額の一部がMELONに寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用いただけます。</p>